

# ULVAC REPORT

第107期 中間報告書

2010.7.1 ▶ 2010.12.31

特集

新たな  
情報時代の進化を担う  
アルバックの技術



ULVAC

# イノベーションによる独自技術の創出と グローバル生産体制の強化を通じて 最先端分野の世界トップを目指します。



代表取締役社長  
諏訪 秀則

このたび、東北地方太平洋沖地震により被災された皆様には、謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧を衷心よりお祈り申し上げます。

当中間期(当第2四半期連結累計期間)における経営環境は、フラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、スマートフォンなどのモバイル機器やタブレットPCの販売が好調に推移し、アジア地域を中心に中小型液晶ディスプレイや有機ELディスプレイの投資が本格化してまいりました。半導体業界では、スマートフォン、タブレットPCなどの需要の増加を背景にメモリ需要が高まり、設備投資は堅調に推移いたしました。また、エネルギー・環境関連では、太陽電池やハイブリッドカー・電気自動車(EV)などの環境対応車に加え、発光ダイオード(LED)、パワー半導体といったエネルギー・デバイスの需要が拡大してまいりました。

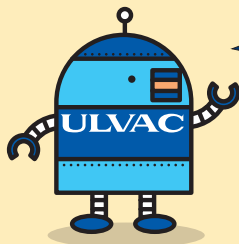
こうした経営環境のもと、アルバックグループは、FPD製造装置や半導体製造装置を中心とする既存商品の競争力強化に努めるとともに、中国をはじめとする成長地域での事業拡大

や、カスタマーズサポート事業、材料事業の積極的な展開といった「ポストFPD戦略」を積極的に推進いたしました。また、中長期成長戦略である「脱装置・脱真空」ビジネスの一環として、医薬品用凍結乾燥製剤一貫ラインや太陽光発電・急速充電システムといったターンキー商品の拡充に注力いたしました。

これらの取り組みの結果、当中間期の連結業績は、売上高1,193億81百万円(前年同期比29.4%増)となりましたが、韓国向け薄膜シリコン太陽電池一貫製造ライン設備の売掛金回収の可能性に懸念が認められたため、貸倒引当金50億41百万円を計上したことにより、経常利益8億6百万円、四半期純損失8億32百万円となりました。

アルバックグループは、これからもたゆみなきイノベーションによって次代の独自技術を創出するとともに、生産改革の推進ならびにグローバル生産体制の強化を通じて収益力の更なる向上を図り、あらゆる最先端分野で世界のトップメーカーを目指してまいります。

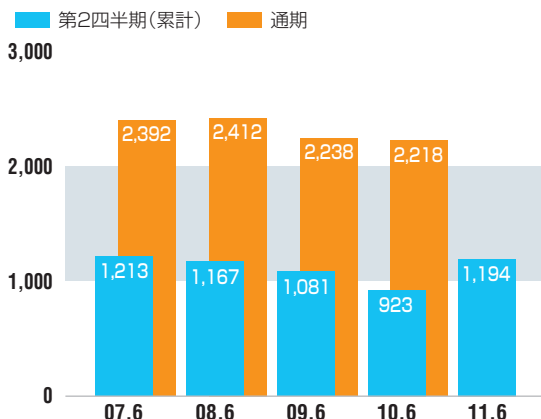
株主の皆様には、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



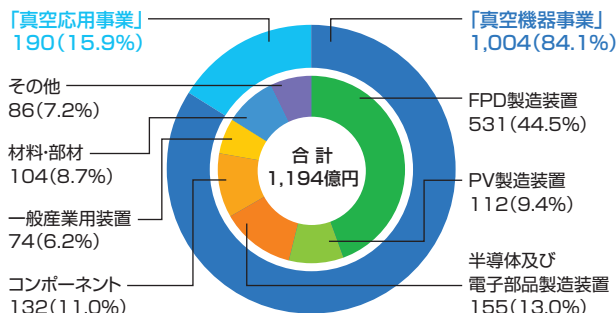
## 当第2四半期連結累計期間の業績ポイント

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高1,022億75百万円(前年同期比14.0%減)、売上高1,193億81百万円(同29.4%増)、経常利益8億6百万円、四半期純損失8億32百万円となりました。

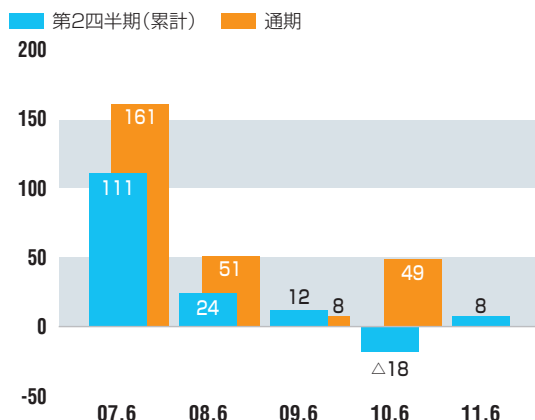
### 売上高 (単位: 億円)



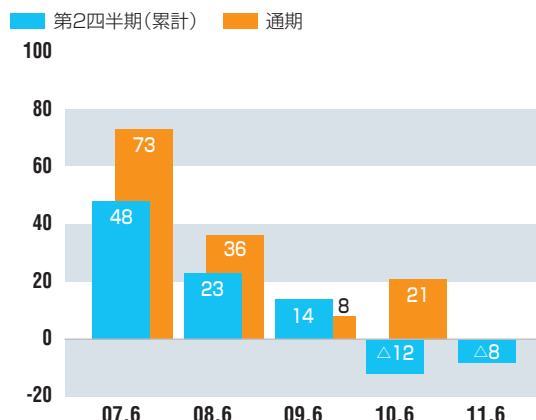
### 事業別売上高 (単位: 億円)



### 経常利益 (単位: 億円)



### 四半期(当期)純利益 (単位: 億円)



※記載金額は億円未満を四捨五入して表示しております。

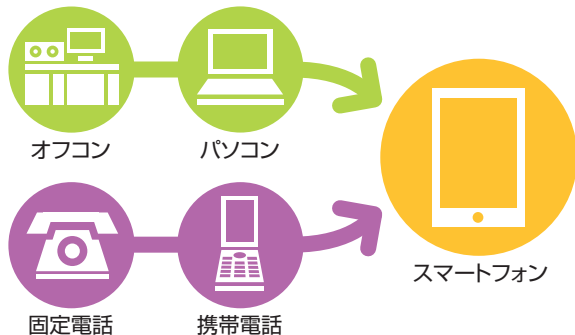


# 新たな 情報時代の進化を担う アルバックの技術

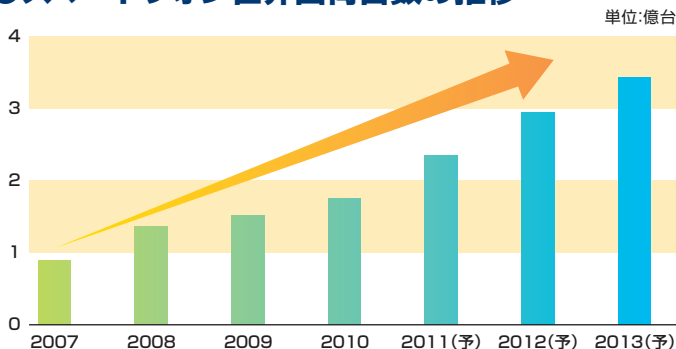
パソコンや携帯電話の普及がもたらした情報社会の革命。それに匹敵する大きな変化が、スマートフォンによってもたらされようとしています。その普及とアルバックの技術はどのような関わりをもっているのでしょうか？



## ●情報端末の進化



## ●スマートフォン世界出荷台数の推移

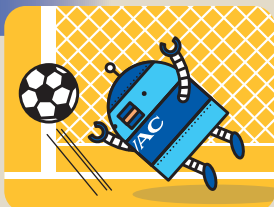


(株)矢野経済研究所推計より

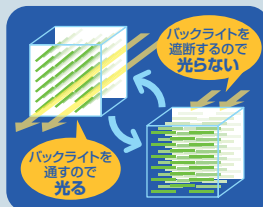
## スマートフォンに 求められている性能

### 1 動画性能

速い動きを  
美しく表現



## その性能を 達成するには…

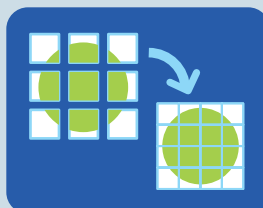
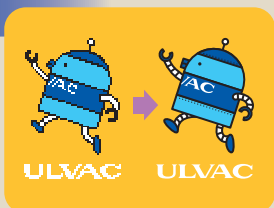


配向の  
変更時間を短縮!

加える電圧の変化に応じて棒状の液晶分子の配列が変わるスピードを速く

### 2 高精細

細部にわたる  
までリアルに

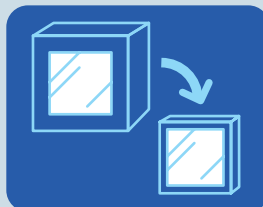


画素間を狭め、  
セルを小さく!

駆動回路をガラス面に作り、配線を廃して画素と画素の間を狭く

### 3 軽量化

持ち運びに  
便利のように  
軽く



部品を減らし、  
ディスプレイを  
薄く、小さく!

駆動回路をガラス面に内蔵することで、外側の基板に設計されていた部品点数を削減

上記の課題を解決しているのが、従来のアモルファスシリコン(a-Si)液晶に代わる低温ポリシリコン(LTPS)液晶です。さらに次世代のディスプレイとして期待されているのが有機ELディスプレイです。

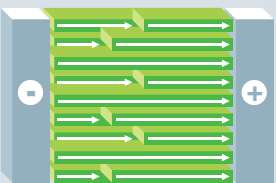
アルバックの製造装置が使われているんだ!



# LTPS液晶の製造装置にはアルバックのスパッタリング技術が結集しています。

## LTPS TFT

多結晶で、結晶が整然と並んでいるため、電子の移動スピードが約100倍も速くなりました。



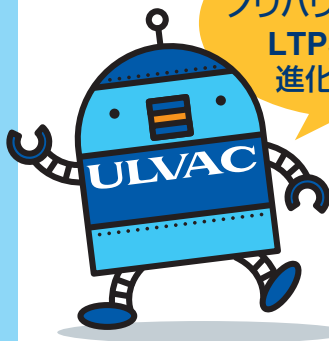
速さ100倍!

## a-Si TFT

非結晶のため、電子移動が遅いのが難点でした。



いままでのノウハウを活かしてLTPS液晶へ進化するよ!

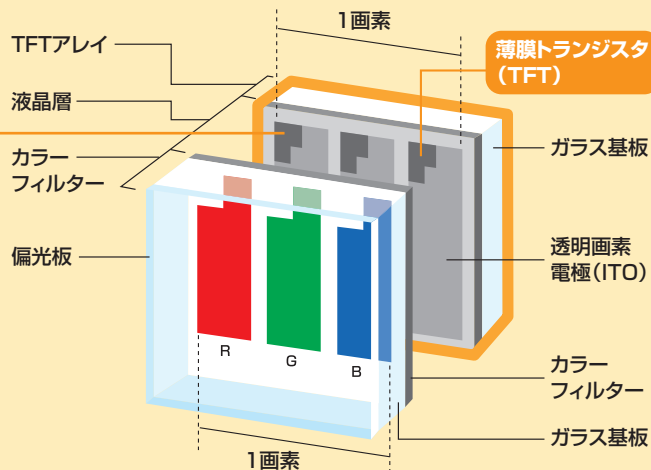


LTPS  
↑  
a-Si

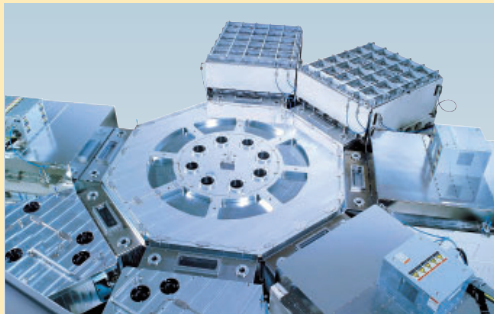
## LTPS液晶ディスプレイの構造

### 液晶ディスプレイの基本構造を支えてきたアルバックの技術

液晶ディスプレイにはトランジスタが作り込まれており、それにはスパッタリング<sup>※1</sup>装置やプラズマCVD<sup>※2</sup>装置で、薄膜を成膜する必要があります。



※1 材料を電子がはじき飛ばすことによって薄膜を成膜する技術  
 ※2 ガスを化学反応させて薄膜を成膜する技術



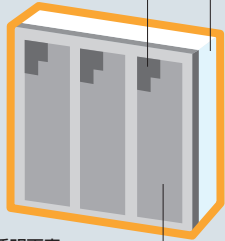
LTPS液晶ディスプレイ製造装置



特集  
新たな情報時代の  
進化を担うアルバックの技術

# アルバックが培ってきたLTPS液晶の技術は 有機ELディスプレイの製造装置に応用できます。

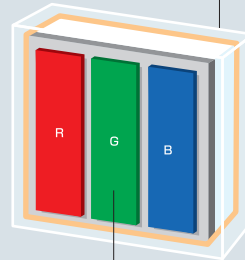
薄膜トランジスタ (TFT)    ガラス基板



液晶ディスプレイの  
技術をそのまま  
応用できます。

透明画素  
電極(ITO)

封止



有機EL素材を成膜、  
封止する工程には  
アルバックが  
長年培ってきた  
技術が必要です。

有機EL素材

※これらの構造図はイメージです。

今後ますます広がる  
有機ELディスプレイ



今後も  
アルバックの  
活躍に注目だよ!

# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結会計期間末 2010年12月31日現在	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 2010年6月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	203,118	199,184
現金及び預金	29,720	31,327
受取手形及び売掛金	95,498	88,526
たな卸資産	67,699	67,675
繰延税金資産	6,516	5,824
その他	4,810	6,040
貸倒引当金	△1,125	△208
固定資産	112,706	114,600
有形固定資産	90,360	89,589
建物及び構築物	46,193	43,823
機械装置及び運搬具	23,568	23,418
その他	20,599	22,349
無形固定資産	4,637	4,364
投資その他の資産	17,708	20,647
投資有価証券	4,920	4,062
繰延税金資産	6,105	6,641
その他	6,683	9,944
資産合計	315,823	313,784

(単位：百万円)

科目	期別 当第2四半期 連結会計期間末 2010年12月31日現在	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 2010年6月30日現在
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	167,804	139,595
支払手形及び買掛金	57,925	58,520
短期借入金	79,514	48,317
その他	30,364	32,758
固定負債	48,565	71,684
社債	70	80
新株予約権付社債	—	15,500
長期借入金	28,769	36,077
繰延税金負債	3	0
その他	19,723	20,027
負債合計	216,369	211,279
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	101,674	103,731
評価・換算差額等	△6,203	△5,432
少数株主持分	3,983	4,205
純資産合計	99,454	102,504
負債及び純資産合計	315,823	313,784

※記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。



## 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 2010年7月1日から 2010年12月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2009年7月1日から 2009年12月31日まで
売上高		119,381	92,279
売上原価		94,872	76,744
売上総利益		24,509	15,535
販売費及び一般管理費		23,511	17,546
営業利益又は営業損失(△)		998	△2,011
営業外収益		893	1,527
営業外費用		1,085	1,294
経常利益又は経常損失(△)		806	△1,778
特別利益		191	123
特別損失		499	218
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)		498	△1,873
法人税、住民税及び事業税		1,443	922
法人税等調整額		△208	△1,344
少数株主利益又は 少数株主損失(△)		95	△224
四半期純損失(△)		△832	△1,227

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期 連結累計期間 2010年7月1日から 2010年12月31日まで	前第2四半期 連結累計期間 2009年7月1日から 2009年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,307	10,869
投資活動によるキャッシュ・フロー		△7,883	△6,279
財務活動によるキャッシュ・フロー		6,644	△2,209
現金及び現金同等物に係る 換算差額		△158	7
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		△2,703	2,389
現金及び現金同等物の期首残高		29,721	21,827
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額		910	211
連結子会社の決算期変更に伴う 現金及び現金同等物の減少額		—	△2,132
現金及び現金同等物の 四半期末残高		27,927	22,295

# Corporate Data / Shareholder Information

## 会社データ / 株式の状況

### 会社概要 2010年12月31日現在

商号 株式会社アルバック  
ULVAC, Inc.  
商標 ULVAC  
本社 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地  
設立 1952年8月23日  
資本金 20,873,042,500円  
従業員数 1,935名(連結7,802名)

### 役員 2010年12月31日現在

代表取締役会長 中村 久三  
代表取締役社長 諏訪 秀則  
取締役副社長 砂賀 芳雄  
専務取締役 山川 洋幸  
取締役 藤山 潤樹  
取締役 加藤 丈夫  
取締役 佐藤 孔史  
取締役 本吉 光  
取締役 五戸 成史  
取締役 末代 政輔  
取締役 小田木秀幸  
取締役 平野 裕之  
取締役 山元 正年  
取締役 中村 孝男  
取締役 齋藤 一也  
取締役(社外) 宇治原 潔  
取締役(社外) 中野 佳信  
監査役 大井 宣夫  
監査役 待鳥 啓信  
監査役(社外) 浅田 千秋  
監査役(社外) 小宮路幸一  
監査役(社外) 野中 孝男

### 株式の状況 2010年12月31日現在

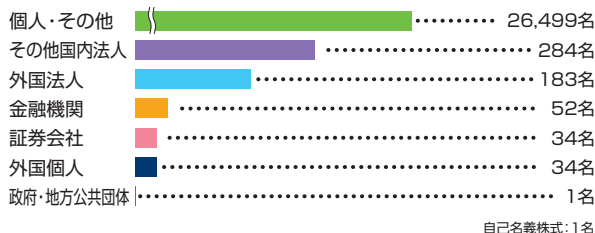
発行可能株式総数 ..... 80,000,000株  
発行済株式の総数 ..... 49,355,938株  
株主数 ..... 27,088名

### 大株主

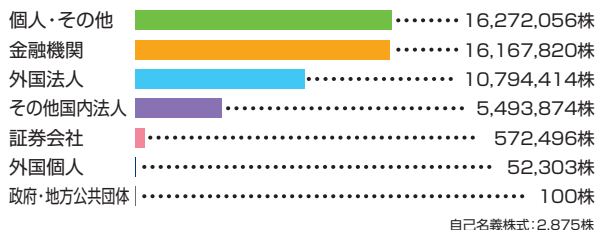
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
TAIYO FUND, L.P.	4,205	8.52
日本生命保険相互会社	3,602	7.30
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,966	3.98
株式会社みずほ銀行	1,916	3.88
株式会社三井住友銀行	1,864	3.78
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,820	3.69
アルバック持株会	1,279	2.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,166	2.36
稲畑産業株式会社	795	1.61
パナソニック株式会社	782	1.58

(注)持株比率は自己株式(2,875株)を控除して計算しております。

### 所有者別株主数 合計:27,088名



### 所有者別株式数 合計:49,355,938株



## 低炭素型社会の実現に貢献する 太陽光発電を活用した 電気自動車用急速充電システムの開発により 「第1回かながわ地球温暖化対策大賞」を受賞。



神奈川県松沢知事より表彰を受ける  
当社山元取締役(左)

アルバックは、太陽光発電を活用した電気自動車(EV)用急速充電システムを開発した功績により、「第1回かながわ地球温暖化対策大賞」(温室効果ガス削減技術開発部門)を受賞しました。

「かながわ地球温暖化対策大賞」は、温室効果ガスの削減に具体的に寄与する優れた取り組みを行った企業や個人を表彰するもので、第1回目となる今回は「温室効果ガス削減実績部門」10者、「温室効果ガス削減技術開発部門」

5者が受賞。2011年2月10日に開催された表彰式では、神奈川県松沢知事より各受賞者に表彰状が授与されました。

2010年1月、アルバックは太陽電池パネルによる発電設備とEV用急速充電器を組み合わせたシステムを開発、製品化に成功し、同年3月、茅ヶ崎市の市営駐車場に第1号機を設置しました。アルバックグループの技術が投入されたこの新システムは、環境保全に貢献するとともにEVの普及に不可欠なインフラとして、自動車業界や地方公共団体など各方面から大きな注目を集めています。

# 株主メモ

**事業年度** 7月1日から翌年6月30日まで  
**定時株主総会** 9月下旬  
**基準日** 定時株主総会・期末配当 6月30日  
**株主名簿管理人** 東京都港区芝三丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
**同事務取扱所** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(郵便物送付先) 中央三井信託銀行株式会社  
証券代行部(証券代行事務センター)  
(電話照会先) TEL.0120-78-2031(フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店  
ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各  
支店で行っております。

## 住所変更など諸手続のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました  
株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株  
式会社にお申し出ください。  
(中央三井信託銀行への手続用紙<住所変更・買取請求・配当金振込指定など>のご請求)  
フリーダイヤル 0120-87-2031(24時間受付:自動音声案内)  
ホームページアドレス [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社  
にお申し出ください。

## 配当金のお受取り方法について

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての  
銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となっています。確実に配当金をお受取りいただくためにも、  
これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。

## HPのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情  
報など、当社をご理解いただくための様々な情報  
を提供しております。

URL <http://www.ulvac.co.jp/>



# 株式会社アルバック

本社／工場  
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500  
TEL. 0467-89-2033

東京事務所  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-3-1  
TEL. 03-5218-5700